



門川町教育研究所では、子ども一人一人の確かな学力の向上をめざして、教育研究や情報発信を行っています。今回は、2月9日（火）に行われた、「宮崎県教育研究発表大会」での門川町教育研究所の発表の様子と、子育ての工夫として、『門川の子どもたちの学力を高めるために』という内容にしました。是非、お役立てください。

宮崎県教育研究発表大会

* 今回は、教育研究所の発表の様子を紹介します。教育研究発表大会には、400名以上の先生が集り、熱心に研究をしました。

門川町教育研究所の研究発表

研究発表、パソコン操作、記録などを研究員で分担して、研究発表を行いました。

授業の進め方についての工夫

ドリル学習の指導についての工夫

学校や家庭への情報発信

の3つについて、今年の研究成果を発表しました。たくさんの参加者の前でとても緊張しましたが、みんなで力を合わせて、いっしょうけんめいに発表することができました。

西門川中学校の長友研究主任を中心に、各学校の研究員が力を合わせて一つになり、今年度1年間積み重ねてきた研究成果を、しっかり発表することができました。



上は、熱心に発表する門川町教育研究所の研究員です。

下は、全体会であいさつをする渡辺義人県教育長です。

CRT検査が実施されました。

CRT検査は、今年1年間の学習がどこまで定着しているかを調べるものです。

門川町の子どもたちの学力向上をめざして、1月下旬に町内の各学校で国語・算数（数学）のCRT検査（学習到達度検査）が実施されました。調査の結果がわかり次第、学校からの説明や個人票（個人の検査結果）の配布等があります。

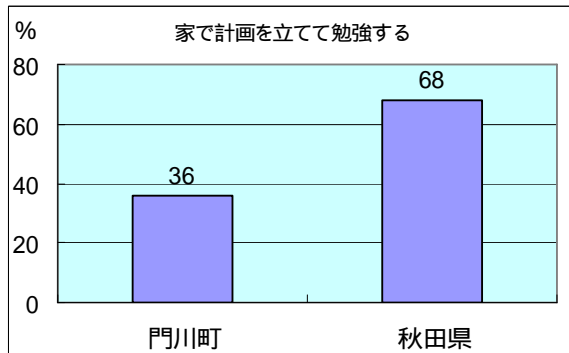
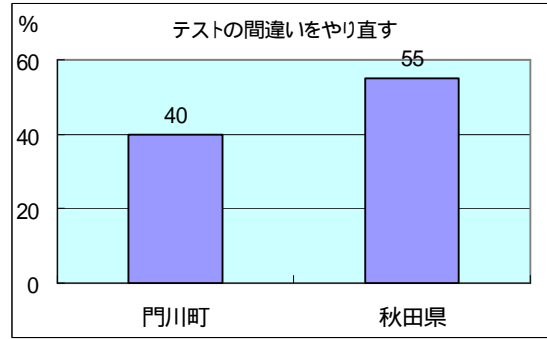
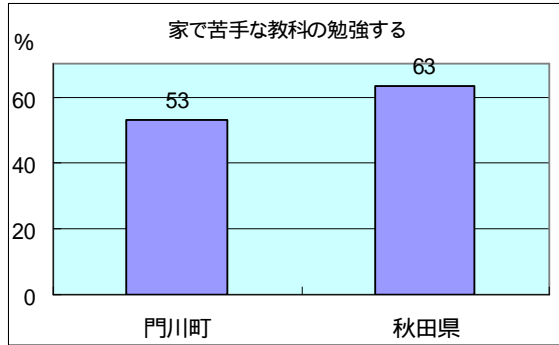
この到達度検査では、今年1年間子どもの学習がどこまで達成できているか、ということがわかります。わたされた個人票をもとに、子どもの学力のようすをしっかりとつかんでいただきたいと思います。また、さらにくわしいことや、どこをどのようにがんばればよいかなどについては、担任の先生と連絡をとり、学校と力を合わせてこれからの指導を行ってほしいと思います。

門川の子どもたちの学力を高めるために！

H 2 1 年度全国学習状況調査から中学 3 年生の例

門川町の子どもは、生活・学習習慣などでは、全国一の学力と言われる秋田の子どもに負けていませんが、秋田の子どもは、苦手な教科の勉強、テストの間違いのやり直し、計画的に勉強するなどの、「ねばり強く勉強すること」でがんばり、学力を高めていることがわかりました。

学力を高めるためには、苦手な勉強でもねばり強くがんばる、毎日の積み重ねが大切です。



「家で苦手な教科の勉強をする」「テストの間違いをやり直す」「家で計画を立てて勉強する」といった、「ねばり強く勉強すること」に関する調査結果を、門川町と秋田県で比べてみました。

朝食を食べる、宿題をするとといった、生活・学習習慣等では、ほとんど差はありませんでしたが、グラフで示したような、「ねばり強く勉強すること」に関する内容で、秋田の子どもたちがよくがんばっていることがわかりました。学力日本一の秘密の一つが、ここにあるようです。

教育研究所からのメッセージ

秋田県では、「秋田若杉っ子 学びの十か条」をつかって、学力向上に取り組んできたそうです。その成果が、日本一につながっているということでした。この中には、「1, 早起き・早寝・朝ご飯に家庭学習」からはじまる十か条のがんばることが書いてあります。このような県をあげての取組の中から、ねばり強く勉強する力が育ってきているのではないのでしょうか。

計画を立てて勉強する、苦手な勉強から逃げない、間違った時こそ勉強のチャンス、このような秋田の子どもたちのがんばりに負けないように、毎日の勉強の積み重ねを大切にしましょう。

お父さん・お母さん子育てで悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
6 3 - 1 5 6 6

~~~~~キリトリセン~~~~~  
\* ご意見やご感想がありましたらお寄せください。（担任まで）